

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局 子ども家庭部 総務企画課
評価対象期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立子どもの館 北九州市立子育てふれあい交流プラザ	施設類型	I	目的・機能	— ⑦
	所在地	【子どもの館】 八幡西区黒崎三丁目 1 5 番 3 号 COM CITY 1 階・7 階 【子育てふれあい交流プラザ】 小倉北区浅野三丁目 8 番 1 号 AIMビル 3 階				
	設置目的	【子どもの館】 ○ 子どもたちに充実感や達成感を得ることのできる遊びや様々な年代の人たちとの交流の場を提供することにより、子どもの豊かな感性や創造力を育む。 ○ 子育ての情報収集と交換の場を提供し、子育ての不安を解消し、それにより子どもの健やかな成長を支援する。 【子育てふれあい交流プラザ】 ○ 0 歳から就学前の親子や妊産婦を対象に、子どもの感性を育み、子育て中の親が持つ負担・不安感を解消し、地域の子育て支援の活性化を図る。				
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制 インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
指定管理者	名 称	NPO 法人子ども未来ネットワーク北九州				
	所在地	北九州市小倉南区北方二丁目 1 5 番 2 1 号				
指定管理業務の内容		○ 施設の維持管理にかかる業務 ○ 子育てに関する取組みの支援や実施にかかる業務 ○ 子育て支援活動を行う市民団体への活動の場の提供及び活動支援 など				
指定期間		平成 2 6 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点												
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		43												
<p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 市の政策を支援することが業務内容に付加されている場合、政策支援が十分に図られたか。</p> <p>③ 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>④ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。</p> <p>⑤ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p>	35	4	28												
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>【子どもの館】</p> <p>平成13年11月に開館した「子どもの館」は、平成23年に開館10周年を迎え、平成26年7月には、入館者が700万人に達成するなど、多くの方々に利用されている。</p> <p>① 指定管理業務の実施状況</p> <p>年間を通して、子ども、親子、世代を超えて楽しめるイベントのほか、子育て支援、青少年の健全育成に向けて、親子のふれあい・自然にふれる・科学に親しむ・文化にふれるなど、さまざまな体験イベントを実施した。また、ほぼ毎月、子育てについて小児科医による無料相談や看護師による勉強会、子どもの発達段階に応じたベビーマッサージや親子リズム体操、親子体操教室を開催するなど、子育て支援にも取り組んだ。</p> <p>各年度別の入館者数は下記のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="263 1563 1214 1756"> <thead> <tr> <th></th> <th>入館者数</th> <th>提案時目標</th> <th>年度協定時目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度 (更新前)</td> <td>789,184人</td> <td>440,000人</td> <td>730,000人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>789,702人</td> <td>763,000人</td> <td>763,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度から26年度において、入館者数は順調に増加しており、また、数値目標も達成している。</p> <p>平成25年度の入館者数は、コムシティビルが再開したことにより、入館者数が増加し、過去最高入館者数となった。</p> <p>平成26年度は、「変身スタジオ」コーナーが改設されたことなどにより、目標入館者数を大きく上回り、過去最高だった前年度の入館者数を超える数字となった。</p>					入館者数	提案時目標	年度協定時目標	平成25年度 (更新前)	789,184人	440,000人	730,000人	平成26年度	789,702人	763,000人	763,000人
	入館者数	提案時目標	年度協定時目標												
平成25年度 (更新前)	789,184人	440,000人	730,000人												
平成26年度	789,702人	763,000人	763,000人												

② 政策支援

当該施設は政策支援型の施設ではないため該当なし。

③ 利用者増の取り組み

ア 夏休み特別展の開催（指定管理者による独自の取り組み）

夏休み期間中に、子どもと子育て家庭に、いつもとは違った特別の「子どもの遊び場の場」を提供することにより、様々な体験や学習、出会い、交流を通して、豊かな感性や創造力を育むとともに、親と子や人と人との繋がり大切さ、子育ての喜びを実感してもらう「夏休み特別展」を開催し、多数の入館者があり盛況だった。「夏休み特別展」の入館者数は下記のとおり。

	入館者数	入館者数／日	開催期間	テーマ
平成 25 年度 (更新前)	235,044 人	5,342 人	44 日	～あそぶ！まなぶ！ たべる！～「お菓子カーニバル」
平成 26 年度	236,486 人	5,375 人	44 日	～できた！わかった！ひらめいた！～ 「パズ・プロ王国」

イ 平成 25 年度に開館 12 周年、26 年度に開館 13 周年記念として各コーナーを無料開放し、たくさんの利用者を楽しんでいただいた。

(平成 25 年度 10,753 人 平成 26 年度 11,216 人)

ウ 団体利用促進

市内及び近隣市町村の保育所・幼稚園に「団体利用の手引」を配布し、団体利用の促進を図った。また、利用しやすいようバス駐車場、昼食場所などを確保し便宜を図った。

④ 施設間の連携

ア 下記 3 事業について、両施設で開催するなど、イベントの連携を図り、利用者から好評を得た。

・赤ちゃん同窓会（指定管理者による独自の取り組み）【26 年度 4 回実施】

同じ年に生まれた赤ちゃんとその保護者を対象に、気軽に話しあえる交流の場を提供し、子育ての不安感や孤独感の解消を図ることを目的に実施するもの。

・もったいないバザール（指定管理者による独自の取り組み）【26 年度 4 回実施】

家庭で不要になった子育て用品、育児用品、おもちゃ等を集め、必要としている方に無償提供するもの。

・男 2 代の子育て講座「ソフリエ・パパシエ」認定講座【26 年度 1 回実施】

(指定管理者による独自の取り組み、平成 26 年度より市と協働事業)

父親や祖父が子育てに関する基本的な知識や技術を習得し、男性の育児参加を促進するもので、1 歳未満及び 1 年以内に誕生予定の子の父親や祖父を対象とした育児講座。子育ての基本知識から遊び方までを学習し、受講後には市から「パパシエ」あるいは「ソフリエ」の認定を受けるもの。

イ 両施設内に毎月のイベントポスター、イベントチラシの設置等、共同広報を行い、相乗効果を図った。

⑤ 営業・広報活動

テレビCMやラジオ、インターネット、市内の保育所・幼稚園・小学校などへのチラシの配布、地域イベントにおけるPR、子育て情報誌等への広告掲載などによる広報活動を行った。

【子育てふれあい交流プラザ】

平成17年12月に開館した「子育てふれあい交流プラザ」は、平成27年5月末には入館者数が400万人に達成するなど、多くの親子や子育て支援者などに利用されている。

① 指定管理業務の実施状況

子育て支援（子どもが新たな発見や創造への喜びを感じることができる遊び場の提供）、親育ち支援（育児や不安や悩みを解消するための相談や講習の実施）、地域子育て支援（子育て支援を行うNPOやサークルの活動支援）を念頭に、子どもや保護者、地域の子育て支援団体等を対象にした様々な事業を、年間を通して計画的に実施した。各年度別に入館者数は下記のとおり。

	入館者数	提案時目標	年度協定時目標
平成25年度 (更新前)	457,513人	416,000人	416,000人
平成26年度	424,810人	433,000人	433,000人

平成25年度から26年度で入館者数が減少したもののほぼ目標を達成できている。

平成26年度の入館者数の減少は、下関市の子育て支援施設「ふくふくこども館」が開館したことや、台風による臨時休館、行楽シーズンの週末に好天に恵まれたことなどが影響していると考えられる。

② 政策支援

当該施設は政策支援型の施設ではないため該当なし。

③ 利用者増の取組み

ア 夏のスペシャルイベントの開催（指定管理者による独自の取組み）

大型連休や夏休みをはじめとした長期休みに集客事業を実施し、また、年間を通して季節に応じたイベントを展開した。中でも例年人気の「夏のスペシャルイベント」では、多くの人で賑わった。

「夏のスペシャルイベント」の入館者数は下記のとおり。

	入館者数	入館者数/日	開催期間	テーマ
平成25年度 (更新前)	13,761人	459人	30日	元気のもりはおもちゃ箱 だいすきみ〜つけた 等
平成26年度	15,706人	524人	30日	元気のもりはおもちゃ箱 だいすきみ〜つけた 等

イ 元気のもり縁日（指定管理者による独自の取組み）

飲食及び創作ゲームなど、常設サービスにはない付加価値を提供するにぎわいづくりを、月に3回程度（年間30回）開催した。長期休暇時には、回数を増やし、

内容も定期的に入れ替えた。

④ 施設間の連携

子どもの館と同じ。

⑤ 営業・広報活動

テレビCMやラジオ、インターネット、市内の保育所・幼稚園・小学校などへのチラシの配布、子育て情報誌等への広告掲載などによる広報活動のほか、市民センターや親子ふれあいルームなどに出向き、遊具の一部を用いた体験型PR「出張元気のもり」を実施した。

【共通】

指定管理者が管理運営するホームページ「子育てマップ」を平成22年度にリニューアルし、子どもの成長や年齢に応じた情報提供を行うとともに、子育てに関するイベント等の情報をメールで配信するシステムを構築し、子育て家庭が必要とする情報を手軽に入手できるようにしている。

また、同ホームページにおいて、両施設のイベント情報をタイムリーに配信した。

上記のとおり、両施設において、指定管理者による様々な独自の取組みが展開されるとともに、利用促進に向けた積極的な広報活動が行われた結果、子どもの館の入館者数が目標を大きく上回り、子育てふれあい交流プラザもほぼ目標を達成できたことは評価できる。

子育て中の保護者が持つ負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点施設として、「子どもの館」と「子育てふれあい交流プラザ」両施設が連携し、子育てに関する相談や講座、情報提供をさらに充実するとともに、職員の人材育成や人事交流を図ることによって、両施設の子育て支援機能の更なる強化が期待される。

(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】

① 利用者の満足度

ア 子どもの館の印象

利用者のアンケートで「子どもの館」の印象を「非常に良かった」、「良かった」と回答した割合。〔 〕内は回答数。

子どもの館の印象	非常に良かった	良かった	計
平成 25 年度 (更新前)	38.4% [397]	59.1% [612]	97.5% [1,009]
平成 26 年度	42.5% [428]	55.9% [563]	98.4% [991]

“非常に良かった”“良かった”をあわせた割合は、どちらの年度においても非常に高く、利用者の満足度は高いものとなっている。

“非常に良かった”“良かった”とする主な理由としては、「子どもが楽しんでいる」「遊具が豊富」「安全に遊べる」「職員が親切」などであった。

“非常に良かった”“良かった”例として、「毎回楽しませてもらっている」「いろいろな企画がありとても良かった」「スタッフの対応が親切」「スタッフの方もやさしいので良い」「きれいに環境がととのえられていて良い」などであった。

イ 子どもの館を利用した回数

利用者のアンケートで過去に「子どもの館」を利用した回数

	はじめて	2～5回	6回以上
平成 25 年度 (更新前)	21.3%	42.5%	35.4%
平成 26 年度	23.6%	37.7%	38.0%

どちらの年度も“6回以上”の利用者が3割を超えるなど、利用者のニーズを捉えた満足度の高いサービスの提供により、多くのリピーターを確保している。

② 利用者意見への対応

利用者の意見をサービスに反映できるよう、アンケートやキッズハウス・あそび工房に設置している「お客さまの声」から利用者のニーズを把握し、可能な限り対応した。一例として、12ヶ月用の離乳食も販売するようにした。

③ 苦情対応

利用者からの苦情に関しては、随時報告があり、状況に応じた適切な対応がなされた。

④ 情報提供

子育て情報誌「ほっぷ・すてっぷ・キッズ」を毎月1回発行した。また、反響が大きかったコラム「子育てを楽しもう」を冊子にし、利用者や子育て関連施設に配布した。

最新の地域の子育て関連情報、市政だより、子育て情報誌など、子育て情報を利用者に提供した。

⑤ サービスの質の維持・向上の具体的な取組み

遊具、設備を常に最良の状態に保ち、安全に楽しく遊べる場所を提供するため、日常点検簿を作成し職員及びアテンダントによる点検を行った。

貸室は設備、備品の保守点検を日常的に行い、利用者へのサービスの維持・向上を図った。

【子育てふれあい交流プラザ】

① 利用者の満足度

ア 子育てふれあい交流プラザの印象

利用者のアンケートで「子育てふれあい交流プラザ」の印象を「非常に良かった」、「良かった」と回答した割合。□内は回答数。

子育てふれあい交流プラザの印象	非常に良かった	良かった	計
平成 25 年度 (更新前)	55.0% [549]	44.1% [441]	97.5% [990]
平成 26 年度	50.3% [487]	49.1% [475]	99.4% [962]

“非常に良かった”“良かった”をあわせた割合は、どちらの年度においても非常に高く、利用者の満足度は高いものとなっている。

“非常に良かった”“良かった”とする主な理由としては、「子どもが楽しんでいる」「いつも清潔・綺麗」「安全」「スタッフが多い」「木のおもちゃが多い」などであった。

“非常に良かった”“良かった”例として、「色々なイベントが開催されていて、飽きない」「スタッフが各所に配置され、危ない遊びをしていないかなど気をつけてくれて、時には注意してくれる」などであった。

イ 子育てふれあい交流プラザを利用した回数

利用者のアンケートで過去1年間に「子育てふれあい交流プラザ」を利用した回数

	はじめて	2～5回	6回以上
平成 25 年度 (更新前)	25.4%	56.8%	17.8%
平成 26 年度	26.3%	55.0%	18.7%

どちらの年度においても、“2～5回”の利用者が半数を超えるなど、利用者のニーズを捉えた満足度の高いサービスの提供により、多くのリピーターを確保している。

② 利用者意見への対応

施設全般に関するアンケートのほか、特に必要と思われるイベントについては別途アンケートを実施し、利用者のニーズや動向を分析の上、対応できるものは即時対応した。

③ 苦情対応

利用者からの苦情に関しては、随時報告があり、状況に応じた適切な対応がなされた。

④ 情報提供

ホームページのトップページの新着情報欄を活用し、施設案内やイベント告知のほか、近況レポートを行うなど特色のある情報提供を行った。また、スマートフォン等の携帯型WEB端末からの閲覧を考慮した広報を行った。

⑤ サービスの質の維持・向上の具体的な取組み

施設利用者が安心して利用できるように、かつ常に最良の状態を提供できるよう、職員、アテンダントが日常より遊具等の動作確認を行った。

2 効率性の向上等に関する取組み	30		18																					
<p>(1) 経費の低減等</p> <p>① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>	20	3	12																					
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <p>【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】 共通</p> <p>① 経費低減の取組み</p> <p>ア 経費（指定管理料）の削減</p> <p>収入増加に取り組むとともに、高い利用者満足度やサービス水準を維持しながら効率的な事業実施を行い、経費（指定管理料）削減に努めている。</p> <table border="1" data-bbox="264 920 1137 1115"> <thead> <tr> <th>指定管理料</th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度 (更新前)</td> <td>268,951千円</td> <td>262,216千円</td> <td>6,735千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>272,838千円</td> <td>271,916千円</td> <td>922千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 省エネ・節電対策</p> <p>平成24年度から両施設は「まちなか避暑地」に参加している。</p> <p>また、両施設、子ども未来ネットワーク北九州事務局で「エコ委員会」を設置し、定例会議で意見交換などを行い、スタッフの意識を高め、利用者サービスの低下にならない範囲内での省エネ・節電に心がけ、経費削減を行った。</p> <p>各年度別の水道光熱費は下記のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="264 1384 963 1624"> <thead> <tr> <th></th> <th>子どもの館</th> <th>子育てふれあい交流プラザ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度 (更新前)</td> <td>30,291千円</td> <td>17,162千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>30,852千円</td> <td>16,900千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 利用者アンケートを活用した経費の低減</p> <p>利用者アンケートを活用することで、イベント・事業の費用対効果を勘案して、事業の継続・廃止などを決めて予算計上している。</p> <p>② 再委託の状況</p> <p>軽微な補修・清掃・設備の保守点検などは職員が対応し、指定管理者が履行できない専門的な知識や技術を要する業務を再委託するなど、経費が最小限となるよう適切な対応がなされた。</p> <p>③ 経費の効果的・効率的な執行</p> <p>利用者の声を活かし、費用対効果を視野に入れ事業を実施した。</p>				指定管理料	予算	決算	差額	平成25年度 (更新前)	268,951千円	262,216千円	6,735千円	平成26年度	272,838千円	271,916千円	922千円		子どもの館	子育てふれあい交流プラザ	平成25年度 (更新前)	30,291千円	17,162千円	平成26年度	30,852千円	16,900千円
指定管理料	予算	決算	差額																					
平成25年度 (更新前)	268,951千円	262,216千円	6,735千円																					
平成26年度	272,838千円	271,916千円	922千円																					
	子どもの館	子育てふれあい交流プラザ																						
平成25年度 (更新前)	30,291千円	17,162千円																						
平成26年度	30,852千円	16,900千円																						

(2) 収入の増加			
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	10	3	6
[評価の理由、要因・原因分析] 【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】共通 ① 収入の増加のための取り組みと効果 年間を通した親子・家族が一緒に楽しめる様々なイベントの開催や夏休み、大型連休などに特別集客事業を実施した。 ホームページ「子育てマップ北九州」や「子育て情報メール」を活用し、イベントのタイムリーな情報発信に努めた。 新聞、子育て情報誌、テレビやラジオを通じた広報や、地域行事に参加しPRを行うなど、幅広い広報・PR活動を展開し収入増加を図った。 有料催事の拡大、貸室利用促進、ショップでの取扱商品拡大などにより収入増加を図った。 各年度別の収入（売上）			
	子どもの館	子育てふれあい交流プラザ	合計
平成 25 年度 (更新前)	79,121 千円	36,005 千円	115,126 千円
平成 26 年度	80,724 千円	32,643 千円	113,367 千円
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み			
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況			
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	4	8
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[評価の理由、要因・原因分析] 【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】共通 ① 人員の配置 両施設とも所長管理監督のもと、適正な人員配置に努め、休日やイベント開催日など、多くの利用者が見込まれる日は、対応者の数を増やすなど臨機応変に対応した。 ② 職員の資質・能力向上 職員・アテンダント・ボランティアを対象に、接遇、人権、安全管理及び子育て支援に関する研修を実施し、職員の資質向上を図った。また、スタッフ全員が「おもて			

なしの心」を持って施設運営ができるよう人材育成を図り、場合によっては外部講師を招聘して研修を実施し、資質の向上に努めた。

③ 地域や関係団体等との連携・協働

ア 北九州子育てサミットの開催

各区の親子ふれあいルーム、地域子育て支援センター、ほっと子育てふれあいセンター、子育て支援サロン“ぴあちえーれ”、子どもの館、子育てふれあい交流プラザが連携して、平成24年度から「北九州子育てサミット」を継続して開催している。

イ 元気のもり・子育てフェスタの開催

「子育てふれあい交流プラザ」サポーター、地域で活動する子育て支援団体や個人、子育て支援を推進する企業と協働し、親子が楽しみながら、学び、ネットワークをつくるきっかけとなる「子育てフェスタ」を継続して開催した。

ウ ボランティアの受け入れ

青少年ボランティアステーションの体験活動の場として、多くのボランティアの受け入れや、地元学生の実習の受け入れなどを積極的に行った。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	1	0	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。				
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。				
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。				
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				

【評価の理由、要因・原因分析】

【子どもの館】【子育てふれあい交流プラザ】共通

① 個人情報の保護

個人情報保護に関しては、北九州市個人情報保護条例や北九州市公式ホームページ管理運営要綱等を遵守しながら、子ども未来ネットワーク北九州のデータ及びプログラム保護管理規定を定め、適切な対策を講じている。

② 平等利用 ③ 公平選定

両施設とも入場に年齢制限のあるコーナーがあり、その利用規定に抵触するケースの要望が利用者からある場合は、その時の施設内周囲の状況、利用者の諸事情などを考慮し、当事者のみならず周囲の利用者の目線にも立って柔軟な対応で対処している。また、遊具や休憩コーナーの長時間の独占には、定期的な館内放送を行い、さら

にスタッフによる他の利用者への配慮をお願いし、広く平等な施設利用ができるように取り組んでいる。

④ 収支状況

事業報告書等を精査した結果、特段不適切な点はなかった。

⑤ 事故防止などの安全対策

朝礼などを通じて、職員、アテンダント等に事故防止に対する意識づけを行うとともに、マニュアルに基づく館内巡回を行い、事故防止に努めている。

⑥ 危機管理体制

遊具・設備の保守点検等、不具合が生じる前に予防措置を事前に施す予防保全型の施設管理を推進した。

また、防災訓練（避難誘導・消火訓練等）のみならず、職員・従事者の安全管理、防災知識向上を図るため研修を実施した。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応

施設内で発生した子どもの怪我などには迅速に対応するとともに、市所管課に速やかに連絡（電話および報告書）をし、結果についても逐次報告があった。

【総合評価】

合計得点	75	評価ランク	B
[評価の理由]			
<p>両施設の設置目的に沿った取組みを積極的に展開しており、効率的・適正な施設の管理運営を行った。アンケートにおいても、遊具・設備、安全性・衛生面、イベント等への評価は高く、利用者の満足度は極めて高く、さらなる両施設の連携・利用促進が図られた。</p> <p>また、地域のイベント、市民センターなどに積極的に出向き、施設のPRや地域の育児サークル等との連携等も図った。</p> <p>さらに、公募時の提案書に盛り込んだ継続事業である、ワーク・ライフ・バランスの推進（男2代の子育て講座）、新たな子育て支援の開拓（北九州子育てサミット、赤ちゃん同窓会）も着実に事業を実施し、両施設の魅力を高めた。</p> <p>今後も、両施設が市の子育て支援施設の拠点としての役割を十分に果たせるように、継続的に指導等を行っていく必要がある。</p>			

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

両施設とも利用者増に向けた様々な企画を実施し、利用者の満足度も非常に高くなっている。

「赤ちゃん同窓会」等、良い取組みをより多くの子育て世代に知ってもらい、参加してもらえるよう、さらなるPRに努めていただきたい。

市の総合的な子育て支援拠点施設として、今後も魅力ある施設運営を期待したい。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方	
5	100%	良	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている



4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)